

News Release

2021 年 5 月 28 日
国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)

一橋大学では、「HIAS Health 医療経済短期集中コース」の受講申込みの受付を 2021 年 6 月 1 日 (火) より、開始します。

「HIAS Health 医療経済短期集中コース」は、医療経済分析の手法を基礎から実践的に学ぶ、社会人の方を対象とした 2 週間 (週末の 4 日間) の短期集中コースです。第 4 回目となる 2021 年度は、11 月 5 日 (金) から 11 月 14 日 (日) に開講いたします。

医療・介護の現場の専門職、医療・社会保障政策を立案する自治体職員、また民間企業の方を対象に、Evidence-based Policy Making (EBPM-科学的な根拠に基づく政策立案) の考え方と根拠の求め方を、演習を交えて基礎から学び、理解していただくことを目的として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (HIAS Health) が実施するものです。今年は基調講演等におきまして、コロナ禍への対応と課題について取り上げる場を設けさせて頂きました。参加者の方々とも積極的に議論させて頂ければと存じます。

コースの概要

期間 2021 年 11 月 6 日 (土)、7 日 (日)、13 日 (土)、14 日 (日)
11 月 5 日 (金) 15 時から、希望者を対象に「コースで使われる統計学の基本」の講義を行います。

会場 オンライン開催

受講料 15 万円／人 ※受講料には、テキスト代等を含みます。

受講申込 Web 申込みとなります。受付期間は、6 月 1 日 (火) から 8 月 31 日 (火) までです。
<https://hias.hit-u.ac.jp/news/20210601-2>
定員は 30 ～40 名程度で、受講申込書に基づいて書類選考が行われます。

コースの特徴

データから日本の医療を考えるための手法を実践的に学びます。HIAS Health における最先端の研究成果に触れることができます。医療経済分析における実践的な統計の手法について、講義とエクセル等の統計ソフトを用いた演習を通じて学ぶことができます。講義や講演などの座学と、演習やグループワークを組み合わせたアクティブ・ラーニングが導入され、より深い理解が得られます。医療従事者、地方自治体職員、民間企業社員と、受講者は多様です。4 日間のコースを通じて、経歴や立場の異なる受講者間の交流・関係構築が促進されます。

コース開設の背景

100 歳時代の到来や医療の高度・高額化に伴い、日本の国民医療費は年間 42 兆円を超え、深刻な財政リスクとなっています。医療・介護への社会のニーズを満たしつつ、制度を「持続可能」にするには、限られた資源 (予算) の効率的な活用を考えなければなりません。そのために、これまで臨床・疫学的なアプローチが主流であった医療・介護分野の政策決定に、EBPM (科学的な根拠に基づく政策立案) を取り入れることが求められています。医療・介護に関わる専門職の方々が EBPM の考え方を理解することが、これまでに増して重要となっています。

お問合せ先

国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)
住所 〒186-8601 東京都国立市中 2 丁目 1 番地
E-mail hias-info@ad.hit-u.ac.jp
HP <https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

一橋大学 HIAS Health 社会連携プログラム 第4回医療経済短期集中コース（2021年）

時間割り

（2021年5月12日版）

| | | | | | |
|-----|-----|-----|---------------|--|--|
| | | | | コースで使われる統計学の基本 （希望者のみ） ※追加料金はありません。 | |
| 11月 | 5日 | （金） | 15:00 — 18:30 | ※ 表計算ソフトを用いた実技も行います。 講師：中村良太 一橋大学社会科学高等研究院准教授／HIAS Health 研究員 | |
| 11月 | 6日 | （土） | 9:00 — 9:30 | オリエンテーション | |
| | | | 9:30 — 12:00 | テーマ1：医療保健政策の政策評価 講義と演習（表計算ソフトを用いた実技） 講師：高久玲音 一橋大学大学院経済学研究科准教授／HIAS Health 研究員 | |
| | | | 12:00 — 13:30 | 昼食（受講生全員の自己紹介タイムを設ける） | |
| | | | 13:30 — 16:00 | テーマ2：医療機関の管理会計について 講義と演習（バランスト・スコアカード） 講師：荒井耕 一橋大学大学院経営管理研究科教授／HIAS Health 研究員 | |
| | | | 16:00 — 16:10 | 休憩 | |
| | | | 16:10 — 17:40 | 時事報告：医療ビッグデータをどう医療政策に活かすか：新型コロナウイルスが病院経営に与えた影響から 講師：渡辺幸子 株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン 代表取締役社長 | |
| | | | 18:00 — 19:30 | 受講生の交流会 | |
| 11月 | 7日 | （日） | 9:30 — 12:00 | テーマ3：費用対効果分析 講義と演習（表計算ソフトを用いた実技） 講師：五十嵐中 横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット准教授／東京大学大学院薬学系研究科特任准教授／HIAS Health 客員研究員 | |
| | | | 12:00 — 13:00 | 昼食 | |
| | | | 13:00 — 14:30 | 基調講演1：コロナ禍が明らかにした我が国の医療のガラパゴス化：東京医科歯科大学の経験から 講師：田中雄二郎 東京医科歯科大学学長 | |
| | | | 14:30 — 14:40 | 休憩 | |
| | | | 14:40 — 16:10 | 基調講演2：診療報酬・薬価はどうやって決まるのか：制度と課題 講師：小塩隆士 一橋大学経済研究所教授／HIAS Health 研究員 | |
| | | | 16:10 — 16:20 | 休憩 | |
| | | | 16:20 — 17:00 | グループワーク 準備（受講生のみ） | |
| 11月 | 13日 | （土） | 9:30 — 11:00 | テーマ4：健康行動 講師：中村良太 一橋大学社会科学高等研究院准教授／HIAS Health 研究員 | |
| | | | 11:00 — 11:10 | 休憩 | |
| | | | 11:10 — 12:00 | 実践現場からの報告：東京都地域医療構想の実現に向けて 講師：東京都福祉保健局 | |
| | | | 12:00 — 13:00 | 昼食 | |
| | | | 13:00 — 13:50 | 実践現場からの報告：総合診療の意義とポスト・コロナのかかりつけ医のあるべき姿 講師：南郷栄秀 社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科 | |
| | | | 13:50 — 14:00 | 休憩 | |
| | | | 14:00 — 17:00 | グループワーク | |
| 11月 | 14日 | （日） | 9:30 — 11:30 | グループワーク 報告 | |
| | | | 11:30 — 12:30 | 昼食 | |
| | | | 12:30 — 14:30 | グループワーク 報告 | |
| | | | 14:30 — 14:40 | 全体写真 撮影 | |
| | | | 14:40 — 16:10 | パネルディスカッション | |
| | | | 16:10 — 16:20 | 休憩 | |
| | | | 16:20 — 16:40 | 認証式 | |

受講申込方法等概要

| | |
|--------|--|
| 期間 | 2021年11月5日（金）、6日（土）、7日（日）、13日（土）、14日（日） |
| 会場 | オンライン開催 |
| 定員 | 30～40名程度（最少催行人数に満たない場合は、コースの開催を中止することがございますので、あらかじめご了承ください。） |
| 受講料 | 15万円／人（受講料には、テキスト代等を含みます。） ※ 地方自治体職員（病院勤務者を除く）および大学院生（社会人学生を除く）の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円／人いたします。 |
| 受講申込期間 | 2021年6月1日（火）～8月31日（火） |
| 受講申込方法 | Web申込となります。下記のページから受講申込みフォームへお進みください。 https://hias.hit-u.ac.jp/news/20210601-2 |
| 受講料の支払 | 受講申込書に基づいて書類選考を行います。選考結果は9月8日（水）までに受講申込者全員にお知らせします。 書類選考の合格者には、後日、請求書を発行いたします。2021年10月8日（金）までに入金をお願いいたします。 期日までに入金が確認されない場合は、受講資格を取り消します。 |
| 実施者 | 主催者都合によりコースの開催を中止した場合を除き、受講料の返金はいたしません。予めご了承ください。 本短期集中コースは、一般社団法人一橋大学知識共創機構からの受託事業として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター（HIAS Health）が実施するものです。 |

第3回医療経済短期集中コース

第3回目となった2020年度の「医療経済短期集中コース」は、2020年11月20日(金)、21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)の日程でオンラインにて行われました。医師・看護師を含む医療従事者、病院事務部門、地方自治体、製薬企業などから、27名の方が第三期生として受講されました。



(パネルディスカッション)



(受講生によるグループワーク報告)

第3回医療経済短期集中コース 受講生の声

受講者へのアンケートでは、受講いただいた80%以上の方から「本コースを誰かに薦めたい」とご回答いただきました。以下、受講生アンケートのご意見から。

- データ分析を行う前に、集められたデータが分析の目的に照らして妥当性を有するかという点に留意し、また結果についてもエビデンスがあるということで依拠しすぎない姿勢が大切だと、身に沁みて納得できました。
- ホットピックであり実際に政策側に携わる方のお話が聴けて興味深かったです。ありがとうございました。
- 規制改革の経緯と現状に関して理解でき、オンライン医療などの今後の動向を意識しながら、業務にも反映させていければと思いました。
- 各メンバーの知識や情報を持ち寄って行い、意義のあるグループワークができたと考えます。
- 考えをまとめる良いきっかけになったのと、業界他社の人と一緒に考えをまとめることができたのは、良い機会でした。異業種の方のGW発表も聞かせていただき、HTAについては業界内では話をしますが、異業種の方の課題に対する考え方を聞いたのも良い機会となりました。
- 政策評価の手法、概念の大枠を体系的に勉強することができ、非常に有意義でした。ありがとうございました。
- サポート型な雰囲気が学びの場を動機づけたと思う。自分の知りたいことの発問を専門の先生方にどのように伝えるかが課題であると改めて痛感した。満足度は高い。
- 医療現場、コンサルなど様々な分野の方とディスカッションできたことは非常に有意義であり、視野を広げることができました。
- 説明が非常に分かりやすく、事前知識があまりない状態でしたが、つまづくことなく講義についていくことができました。

一橋大学社会科学高等研究院

一橋大学では、日本および世界の喫緊の社会的な重要課題に対して、学際的かつ集中的に取り組む国際共同研究のハブ(拠点)として、平成26年に、学長直轄の研究組織「一橋大学社会科学高等研究院」を設置しました。英語名「Hitotsubashi Institute for Advanced Study」の頭文字からHIAS(ハイアスと発音します。)を略称としています。さらに、社会的な重要課題の一つである、医療・介護・社会保障を取り巻く問題の解決のために、質の高い社会科学研究によって貢献することを目的に、平成28年2月にHIASのもとに「医療政策・経済研究センター(HIAS Health)」を設置して、研究を進めています。

コースの概要 (2021年度)

- 期 間 2021年11月5日(金)午後、6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)
- 会 場 一橋大学 千代田キャンパス
(東京都千代田区2-1-2 学術総合センター2階 一橋講堂 中会議場)
※オンライン開催に変更となる可能性があります。
- 定 員 40人
- 受講料 15万円／人
※受講料にはテキスト代等を含みます。
※地方自治体職員(病院勤務者を除く)および大学院生(社会人学生を除く)の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円／人といたします。
- 受講申込み 2021年6月受講申込み受付開始予定(WEB申し込み)
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/>
- 実施者 一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター(HIAS Health)



コースの特徴

EBPM(科学的な根拠に基づいた政策立案)

HIAS Healthにおける最先端の研究成果を取り入れ、社会科学の知見を医療の政策立案・実務の現場に反映させることを目指しています。

実務的な統計手法の習得

医療経済分析における統計の手法について、講義とエクセル等統計ソフトを用いた演習を通じて学びます。

座学とグループワークを合わせたアクティブ・ラーニング

講義のテーマの中から事前に受講生に希望調査をし、関心に応じて、5名程度のグループを編成し、グループワークを行います。

受講生間の交流

自治体・医療関係者等、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築を促し、政策立案と現場の連携に繋がります。



●お問い合わせ先
一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
〒186-8601 東京都国立市中2-1
URL <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>
E-mail hias-info@ad.hit-u.ac.jp



社会連携プログラム

第4回

医療経済 短期集中コース

—EBPMで考える医療経済—



一橋大学
大学院経済学研究科
一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター

医療経済短期集中コースについて

医療・介護に関わる専門職の方々がEBPMの考え方を理解することが、これまでに増して重要となる中、一橋大学では、社会人を対象とした高度職業人専門プログラム(リカレント教育プログラム)である「HIAS Health社会連携プログラム医療経済短期集中コース」を、2018年度より開講しました。

コースでは、データに基づいた医療・介護に関わる政策・経営の実態把握と分析や効率化に向けた手法等を、データ分析の初心者にも分かりやすく講義します。また、演習・グループワークなどのアクティブ・ラーニングを組み込み、内容への理解を深めるとともに、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築の促進が図られます。是非、医療・介護の現場で仕事をされている方、政策立案に携わる方、製薬企業、大学関係者など医療経済に関心のある方に、広く受講していただければと願っております。



佐藤 主光 Motohiro SATO

一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
センター長
一橋大学大学院経済学研究科 教授
一橋大学国際・公共政策大学院 教授

コースの内容 (例:2020年度の時間割から)

2021年度の時間割は6月にHPで公開予定

- コースで使われる統計学の基本 講義と演習
[講師] 中村 良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員
- 医療保健政策の政策評価 講義と演習
[講師] 高久 玲音 一橋大学大学院 経済学研究科 准教授/HIAS Health 研究員
- コロナ危機における経済政策対応 講演
[講師] 小林慶一郎 公益財団法人東京財団政策研究所 研究主幹
- 実践現場からの報告① 日本のプライマリケアの現状と課題
～新型コロナウイルス感染症は何を明らかにし、何を变えたか～
[講師] 西岡大輔 日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医/
千葉県介護支援専門員/江戸川学園おたかの森専門学校 社会福祉士養成課程
- 医療政策の時事報告 医療介護分野における規制改革
[講師] 彦谷直克 内閣府規制改革推進室 次長
- 医療機関の管理会計 講義と演習
[講師] 荒井 耕 一橋大学大学院経営管理研究科 教授/HIAS Health 研究員
- 費用効果分析 講義と演習
[講師] 五十嵐 中 横浜市立大学医学群 健康社会医学ユニット 准教授/
東京大学大学院 薬学系研究科 特任准教授/HIAS Health 客員研究員
- 医療と行動経済学 講演
[講師] 大竹文雄 大阪大学大学院経済学研究科 教授
- 実践現場からの報告② 東京都地域医療構想の実現に向けて
[講師] 江口耕一 東京都福祉保健局医療政策部計画推進担当課長
- アフリカの保健・医療制度改革と住民参加
～選択実験を応用したヘルスシステムリサーチの紹介 講義
[講師] 本田文子 上智大学経済学部 教授
- グループワーク ■ グループワーク報告会 ■ パネルディスカッション

受講生の声

- データ分析を行う前に、集められたデータが分析の目的に照らして妥当性を有するかという点に留意し、また結果についてもエビデンスがあるということで依拠しすぎない姿勢が大切だと、身に沁みて納得できました。
- ホットピックであり実際に政策側に携わる方のお話が聴けて興味深かったです。ありがとうございました。
- 規制改革の経緯と現状に関して理解でき、オンライン医療などの今後の動向を意識しながら、業務にも反映させていければと思いました。
- 各メンバーの知識や情報を持ち寄って行い、意義のあるグループワークができたと考えます。
- 考えをまとめる良いきっかけになったのと、業界他社の人と一緒に考えをまとめることができたのは、良い機会でした。異業種の方のグループワーク発表も聞かせていただき、HTAについては業界内では話をしますが、異業種の方の課題に対する考え方を聞いたのも良い機会となりました。
- 政策評価の手法、概念の大枠を体系的に勉強することができ、非常に有意義でした。ありがとうございました。
- サポート的な雰囲気や学びの場を動機づけたと思う。自分の知りたいことの発問を専門の先生方にどのように伝えるかが課題であると改めて痛感した。満足度は高い。
- 医療現場、コンサルなど様々な分野の方とディスカッションできたことは非常に有意義であり、視野を広げることができました。
- 説明が非常に分かりやすく、事前知識があまりない状態でしたが、つまづくことなく講義についていくことができました。



2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンライン形式での開催となりました。

